

(解答例)

獅子島は化石の島と呼ばれ、恐竜時代のアンモナイト、イノセラムスなどの化石を採取できる。熊本県に分布する同じ地層からは恐竜の化石も見つかっている。種子島では、約1600万年前の茎永層群からカキやマングローブの泥底に棲息するウミニナなどの巻貝の化石が見つかり、当時の種子島は汽水域に近い内湾であったと考えられている。また、種子島の形之山化石群にはゾウ、シカ等の陸に棲息する動物の他に、魚、カニの海に棲む動物の化石が見つかった。(211字)

(解答例)

南方の交易ルートを確保するため、初代藩主島津家久は、江戸幕府の許可を得て1609年琉球王国に侵攻した。戦いは、沖縄のみならず、大島各地や徳之島でも激しいものがあり、大勢の島民が亡くなった。戦いに敗れた琉球は、王国の形を残したまま薩摩藩の支配下に組み込まれ、奄美諸島は琉球王国から切り離されて薩摩藩の直轄領となった。これにより得られた莫大な利益は薩摩藩を立て直すだけでなく、明治維新を成し遂げる財力になった。

(203字)

(解答例)

始良郡加治木町で毎年6月に行われる伝統行事。黒い胴体に黄金色のしま模様を描くコガネグモのメス同士を棒上で戦わせる。糸でからめとる、しりにかみつく、棒にぶらさがって粘る敵の糸を切って地面に落とす、などの多彩な技があり、かみしもを着けた行司が勝負をさばく。朝鮮出兵を行い、晩年を加治木で過ごした島津義弘が、陣中で士気を高めるために始めたと伝えられるが、クモを戦わせる風習は高知など黒潮文化圏に広がっている。(201字)

(解答例)

南薩地域は、昭和40年より始まった南薩畑地かんがい事業によって、生産性の高い近代的な農業が確立されている。主要農産物は、全国上位の生産量を誇るお茶をはじめ、施設栽培のすいか・メロン、オクラ、そらまめ、かんしょ、かぼちゃ等があり、県下でも有数の園芸作物地帯となっており、加世田のかぼちゃや指宿地区のそらまめなどは県のかごしまブランドの産地指定を受けている。また、カーネーション・きく等の花き類や温泉熱を利用した観葉植物の生産も盛んである。(218字)

## 【解答】

### A－喜界島

産業面では農業が盛んで、サトウキビを中心に花、野菜、畜産との複合経営が営まれている。観光面では、百之台公園、中西公園等の景勝地が多く、空港臨海公園がオープンするなど観光基盤整備が進んでいる。(95字)

### B－徳之島

奄美諸島最大の耕地面積を活かしたサトウキビ栽培が盛んで、奄美諸島全体の5割強を占めている。観光面では、金見崎などの景勝地も多いが、闘牛大会やトライアスロン大会など情熱的なイベントが多く開催されている。(100字)

### C－沖永良部島

全島石灰岩よりなる新生代の琉球層群に覆われており、東洋一の鍾乳洞である昇竜洞をはじめ200～300の大鍾乳洞群が見られる。また、農業も盛んで、切花やゆり・フリーズアなどの球根類の生産額は県内でも最大規模である。(105字)

### D－与論島

大金久海岸の沖合にある砂浜「百合ヶ浜」は星砂が混じっていることで有名。与論島は、これまで海洋性レクリエーションを主とした観光が重要な産業であったが、近年はタラソセラピーなどの癒しをテーマとした新しい産業の展開が見られる。(110字)